

令和2年度 学 校 評 価 シ ー ト

学校名：和歌山県立きのくに青雲高等学校（定）

学校長名：阿形 武芳

印

(別紙様式)

めざす学校像
育てたい生徒像

・生徒の抱える様々な課題解決を支援し、生徒自身の自己肯定感や自己有用感を高め、地域社会に貢献でき、自らも幸福な生活を営むことができる力を育成する学校。
・地域に根ざし、勤労と勉学を両立させ、社会に貢献できる心身共に健全な自立した生徒。

本年度の重点目標

(学校の課題に即し、精選した上で、具体的かつ明確に記入する)

1 基礎学力の定着を徹底し、生徒の実態やニーズにあった授業の充実に努める。

2 適切な職業観・勤労観を育てるキャリア教育を充実させる。

3 カウンセリングマインドに基づいた生徒指導を行い、地域社会・外部関係機関との連携を深め必要な支援を行う。

中期的な目標

・基礎学力の定着を徹底し、学ぶ楽しさや「わかる・できる」を実感させるため、生徒の実態やニーズにあった授業を行う。
・自ら社会に参画しようとする意識を育て、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自己実現を図る力を養う。
・基本的生活習慣を確立するとともに、他者との協調や協働を図りながら社会で生きていける力やスキルを育む。

学校評価の結果と改善の方策の方法

育友会総会等を通じて保護者への周知を図る。
ホームページに掲載する。

達成度

A 十分に達成した。(80%以上)

B 概ね達成した。(60%以上)

C あまり十分でない。(40%以上)

D 不十分である。(40%未満)

(注) 1 重点目標は3～4つ程度設定し、それらに対応した評価項目を設定する。 2 番号欄には、重点目標の番号を記入する。 3 評価項目に対応した具体的取組と評価指標を設定する。
4 年度評価は、年度末(3月)に実施した結果を記載する。 5 学校関係者評価は、自己評価の結果を踏まえて評価を行う。

自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
重 点 目 標							令和3年1月 実施	
番 号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 取 組	評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	本校入学生徒の多くは、学習に対して強い苦手意識をもち自己肯定感が総じて低い。そのような生徒たちが、入学時から授業についていけず学習態度が消極的になったり学年が進行しても授業への取り組み意欲が見られないことが多々ある。このことが、学力向上を阻み、卒業率が上がらない原因の一つになっているものと考えられ、解決すべき課題である。	生徒の実態にあった授業改善や、主体的な学習を促す取組が組織的に十分行われているか。	生徒の実態に即した授業内容を工夫し、評価を含めた授業改善で達成感や自己肯定感を養うことを目指し出席率・卒業率を向上させる。	・達成感や自己肯定感をもたせる授業を実施する。 ・卒業率を前年度より向上させる。	各教員は、生徒が達成感を感じられる授業を意識し取り組んだ。卒業率は前年度と比較してわずかに減少した。	B	卒業率は85%であり、前年度よりわずかに低い割合となった。年度当初の卒業予定者を卒業に結びつけられるよう粘り強く指導し、今後も卒業率の改善に努めていきたい。 また、授業を中心として生徒が達成感や自己肯定感を体験できる工夫と、生徒と教師の良好な関係を促進させる取り組みをより充実させていきたい。	
2	生徒の幅広い進路希望に対応するためには、キャリアカウンセリングを身につける必要がある。 本校のキャリア教育は、教育活動全体を通して行っており、指導力の向上を図ることが求められている。 一人でも多くの生徒が進路先を決めて卒業するための対策として、就職試験や進学試験を受験する生徒の学力向上およびコミュニケーションのスキルアップを図る取り組みを実施する必要がある。	生徒一人一人の職業観・勤労観を高め、自身の進路目標を明確に持つことができているか。 年間行事計画の中にキャリア教育の視点をもちた活動内容が取り入れられているか。 進路目標を達成するために授業の中で、学力の向上に関する取り組みが行われているか。	個人面談や面接指導等を積極的に行い、進路希望の実現を目指す。 企業説明会、進学説明会、オープンキャンパス等への積極的な参加を促し、進路ガイダンスやキャリア講演会等を通して生徒に明確な進路目標をもたせる。 進路LHRや個別相談等でサポートステーション和歌山と連携し、生徒の進路意識を高める。	・学級担任や進路指導担当者との面談を密に行う。 ・就職指導員を活用し、希望の実現を図る。 ・進学希望校への体験入学等や就職説明会等への参加を促し、進路決定へとつなげる。 ・進路ガイダンスおよびキャリア講演会の更なる充実を図る。 ・サポートステーション和歌山と連携し、多面的に生徒をサポートする。	地道な面談等を重ねることで、進路希望の実現を図ることができた。 コロナの影響で、例年通りの説明会等がほとんど実施できなかったが、さまざまな機会を設け、進路への意識喚起をできるだけ行った。 キャリア教育の視点をもった授業を各教科等で展開したことで、就職試験や推薦・一般入試に対応する力を身に付けることができた。	B	諸事情を抱えた生徒が多いため、個々の状況に見合った進路希望に対応しなければならず、常にキャリアカウンセリングの視点を持って接する必要がある。 年々自分の進路決定ができない生徒が増えている傾向にある。とりあえず卒業ではなく、具体的な進路目標を意識させるように努めていきたい。 社会に求められている一つに、コミュニケーション能力がある。さまざまな機会を通じてその能力の向上を図りたい。また、基礎的な学力が身に付いていることも求められている。繰り返し学習することで、定着するように取組を充実していきたい。	
3	不登校生徒が多数在籍している状況から、きめ細かな指導に尽力してきた。近年は、問題行動が多様化するとともに精神的に未発達・不安定な生徒や特別な支援が必要な生徒の入学も増加しており、個に応じた指導が一層求められている。 また、家庭環境が複雑化してきており、保護者との連携が取りづらい状況も多い。毅然とした指導とともに、生徒、保護者に寄り添った指導を心がける。 自転車や原付自転車の交通安全指導を充実させる。 喫煙防止指導、薬物乱用防止指導に取り組む。 生徒が安心して学習に取り組める学習環境の整備に取り組む。	多様化してきた生徒一人一人に対する適切な指導を行っているか。 教職員や関係機関との連携を密に指導にあたっているか。 保護者との信頼関係を深めるような指導にあたっているか。 学校運営協議会等を通して学校と地域との連携・協働ができているか。 交通安全教育、喫煙防止指導、薬物乱用防止指導が組織的に行われているか。	現職教育、昼夜別会議等を活用し、指導方針・生徒の状況等について全教職員の共通理解を図り、多様な問題行動に対する適切な指導方法等を組織的に検討していく。 教員のカウンセリング力を高め、不登校克服を更に実現する。 生徒が抱える課題の早期発見及び登校・授業参加の動機付けのため、校内に生徒が相談できる「居場所」を設置し、生徒支援の充実を図る。 SC、SSW等を更に活用し、関係機関との連携に努め、迅速・適切な対応を図る。 保護者との連絡を密にし、共通理解のもと生徒の指導を行う。 また、地域との連携を図る。 交通マナー指導を充実させる。 また、喫煙防止、薬物乱用防止指導に取り組む。	・生徒情報を共有するために、職員会議等で常に情報交換を行ったり、「個人記録カード」の活用の充実を図る。 ・中途退学率10%以下を達成する。 ・不登校回復率を更に高める。 ・「居場所」により、生徒支援の充実を図り、不登校の解消や授業参加率を高める。 ・支援委員会を開いて、定期的な情報交換を行い、関係機関との連携等により問題解決を図る。 ・保護者との連絡、面談や家庭訪問の機会を増やす。 ・学校運営協議会との連携を図る。 ・毎朝の通学指導を行う。 ・交通安全マナー教室や交通安全テストを実施し交通安全意識の向上を目指す。	個人記録カードにより、卒業までの一貫した指導ができるようになった。 現職教育で知識・情報の共有を行った。また、「やすらぎの部屋だより」の発行で教育相談班の活動を紹介し、子育て支援父母の会では、SC・SSWを交えての保護者からの相談、活発な情報交換ができた。 支援委員会では、SC・SSWを交えたケース会議を開き、より具体的な取り組みができた。 外部機関職員と連携した「居場所事業」は生徒の居場所の一つとなった。 生徒一人一人とのコミュニケーションを意識して、生徒指導を行った。指導を要する生徒及び保護者と面談し、理解、連携に努めた。 コロナウイルス感染症の影響で予定していた講演会などが実施できなかったが、部員で喫煙・薬物乱用・ネット依存などについての特別授業を行い指導した。	B	多様化する生徒に応じた支援を行うために、外部機関とのさらなる連携の充実を図るとともに、保護者等との連携を強化できるための機会の確保に努め情報提供を行う。 また、一人一人の生徒に適した対応を行うために、現職教育、情報提供等の充実を図りたい。 生徒理解に努め、表出する問題行動を未然に防ぐ指導を行う。毅然とした指導とともに生徒、保護者に寄り添った指導を心がける。 喫煙防止指導を積み重ね、生徒の意識を向上させる。日頃より交通マナーに関する指導を行い、命に関わる事故が発生しないよう指導する。また、生徒が授業に参加し、学力向上するよう、環境整備に努める。	

○以下の評価項目について、高い評価をいただいた。
・本校の教育目標はわかりやすく示されているか。
・本校の生徒は明るく生き生きと学校生活を送っているか。
・本校は保護者や地域の方々と連絡・連携がうまくとれているか。
・本校には他校にない特色があるか。
・本校は生徒に対して分かりやすく充実した授業を行っているか。
・本校では、基本的な生活習慣や規範意識を身に付けるため適切な指導が行われているか。
・本校では、生徒が将来社会人として生きていくための取組は十分行われているか。
・本校の学校行事等は充実しているか。
・本校では、進路に関する情報提供に努めているか。
・本校では、生徒の健康や安全に関する指導が適切に行われているか。
・本校では、校舎、校庭、教室の環境美化や整理整頓ができているか。
・本校の施設・設備が充実しているか。

○以下の評価項目について、次年度に向け改善を要するとの評価をいただいた。
・本校の教育活動に保護者や地域の意見を取り入れているか。
・本校の生徒会活動や部活動は活発であるか。

○以下の意見をいただいた。
・学校運営等は概ね良好であると考ええる。
・学校がより発展できるよう協力していきたい。
・今年度は新型コロナウイルス感染症対策で大変な一年でした。今後、オンライン授業やICT機器等の有効活用に期待します。